

12

松齢橋 しょうれいはし

Shorei Bridge



路線名	一般県道 山口渡利線
所在地	福島県福島市町渡利
緯度経度	北緯 37° 45' 00" 東経 140° 28' 21"
橋長	175.8m
支間長	42.0m (最大)
橋梁構造	4径間鋼トラス橋
管理者	福島県県北建設事務所
完成年	大正14年
カード配布場所	コラッセふくしま

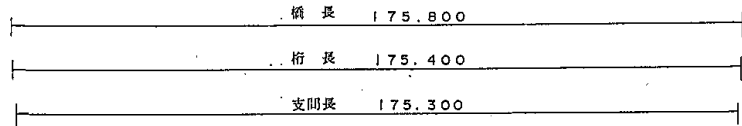
カードには載ってない!

ひとくちメモ

松齢橋が建設された当時の福島市では、明治以降の人口増加と商工業の発達に伴い、上水道整備が急務の課題となっていました。このことから、上水道計画が進められ、旧渡利村に建設される浄水場から阿武隈川を跨いで福島市街地に水道管を通すため、松齢橋に大口径の水道管を添加できるような鋼鉄の橋が求められました。松齢橋は、交通や飲料水など多方面で、当時の地域住民にとって生活を支える重要な役割を果たしていました。

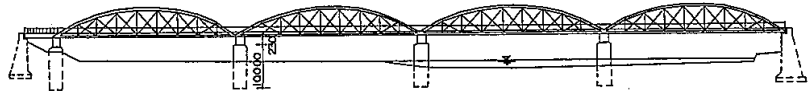
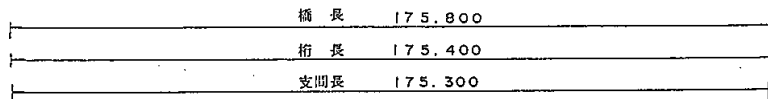
図面

平面図

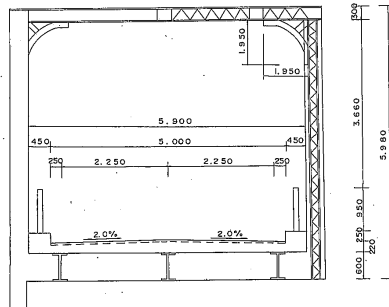


阿武隈川

側面図



断面図



写真

